

大沼 瑞穂氏



山形と海外の人材
交流することが大切。
技術継承でも連携し
今後の土台づくり。

大沼 コスト増に伴う製造業の海外進出が目立つが、業界が景気に左右されないためにも、山形と海外の人材がいかに交流できるかが重要だ。県外から来る人と県内に住む人の融合が大切になる。世界の中に輝く山形という発想で、研究開発だけでなく技術継承の部分でも連携していくことが今後の山形の土台づくりにつながるのではないかと、人口減少に立ち向かうには、私たちの世代が県内にとどまる施策の充実が不可欠。県が力を入れている子育て支援だけでなく、女性や高齢者の就業率、3世代同居率が高い状況を将来にわたって続けていくことが、人口増や若者の県内定着の基盤となっていく。